

世田谷区民間保育園連盟

令和7年度

事業計画(案)

## 1 基本方針

世田谷区民間保育園連盟園長会(以下園長会)は、園長会の目的達成に向けて全会員が共に考え協力し合いこれを行う。また園長会には各地域から推挙された会員によって役員会や各種専門部が組織され、役割を分担して運営にあたる。園長会は原則として毎月開催し、世田谷区による事務説明会・全体園長会・地域園長会から構成される。全体園長会は問題提起や全体決議を行い、地域園長会は少人数での意見交換を行う。また各部署報告や分かち合いで情報交換や学び合いの場を持つ。これらの取り組みにより全体としての統合性を保ちつつ以下のことを推進する。

- ① 児童の福祉増進及び保育内容の充実を図る。
- ② 情報の収集と共有を図る。
- ③ 関連する諸問題を検討し、行政施策に反映させる。
- ④ 各園相互の親睦と相互扶助を図る。

## 2 会員数

	世田谷	玉川	砧	北沢	烏山	合計
本園	45	40	35	34	21	175
分園	7	8	9	4	4	32
こども園	3	0	1	1	0	5
合計	55	48	45	39	25	212

## 3 役員

会長	小嶋 泰輔	事務局長	衛藤 美樹子
副会長	坂田 朗 澤原 満美	事務局次長	鮎澤 裕子 西田 健太
		会計	板垣 雄一 加藤 一江

監事	嶋田 浩子	相談役	正岡里鶴子 (保育運営支援専門員)
----	-------	-----	-------------------

## 4 組織図 (役務含む)

※ 別表1・別表2参照

## 5 今年度の重点取り組み

保育の質向上のため、構造の質とプロセスの質の両方を追求する。

- ① 保育について語り合い、学び合う組織を目指す。(研修)
- ② 各園の意見を吸い上げ、全体の情報を共有する。(地域)
- ③ 行政に対して運営や保育に有利な制度を求める。(制度)

- ④ 共通課題の解決に向けて、組織力を活かして取り組む。(全体)
- ⑤ 情報発信力を強化すると共に、会員の利便性を高める。(役員)

具体的には、①一園一園がせたがやのほいくに対する貢献心を持つことで、地域園長会が活況を呈しており、隣組・地域分割グループ・地域園長会・専門部・役員が役割を果たすことで、さらなる発展を目指す。②一園も置き去りにすることなく意見を吸い上げ、有用な情報は隅々まで伝達する。③近年訴え続けている定員未充足時の補填となる補助金制度の創出に取り組む。その他、新しい保育制度に対してより良い条件を獲得すべく働きかける。④保育人材の獲得など共通の課題に精力的に取り組む。⑤園長会ひいては各園の実践を発信することでせたがやのほいくのブランド化を促進する。また、さらなる組織力の強化に向けて法人化や事務機能向上に取り組む。

## 6 各部署の活動目標と活動計画

### (1) 役員会

役員会では、これまで通り民間保育園連盟に所属する会員園にとって有益となるよう行政・関係等との連携を図り、園長会の経営や運営に関して尽力すると共に、今後の保育情勢において会員抱える問題等を適時把握し、その対応に関しても検討を進めていく。

また、規模が大きくなった民間保育園連盟をより円滑にまとめるためにも地域園長会における体強化するための支援を行っていく。

### (2) 代表者会

役員、地域代表者、専門部代表者、各種団体の代表者が年に2回(9月、1月)に振り返りをし、情報共有をおこなう。世田谷区民間保育園連盟全体のことや各部署における重要事項の検討や意見交換をおこない、後期や次年度に活かしていく。

### (3) 地域園長会/保育ネット

#### ア 世田谷地域

##### (ア) 目標

- ・各園のことをあらためて知り、困った時は助け合える顔の見える関係性作り。
- ・2024年度の取り組みの継続と振り返りを2025年度に活かしより良いものにしていく。
- ・専門部会等なるべく対面で行っていこう。
- ・年長をメインに子どもたちの交流をしていこう。
- ・「癒し」の企画をどこかに入れてみよう。

##### (イ) 計画

- ・前期は各地域、後期は全体で親睦会を開催し交流を図る。
- ・隣組の小さな単位で見学や研修、定期的に専門部会を対面で行っていく。
- ・地域代表の打ち合わせ(月1回)を大事にして、それぞれの活動を共有し参考にする。又話し合いででた内容も共有し必要に応じて役員に上げていく。
- ・園長の仕事は大変なことが多いけれども、やりがいのある役職でもあることを感じられるような「癒し」の企画を考える。

## (ウ) 保育ネット

### <目標>

- ・対話からうまれる、つながりを大切にする。
- ・私立、区立、認証、認可外、保育ママの垣根を超えた交流と情報交換を実現する。

### <計画>

- ・交流・情報交換会の実施
  - ※年間 5～6 回のネット会議を開き、目的を持った交流や情報交換を行う。
  - ※階層・職種別での交流を増やしていけるよう年間で計画する。
- ・研修会・勉強会の実施
  - ※年間 1 回の保育ネット研修会・勉強会を開催する。
- ・事務局会議の実施
  - ※2 か月に 1 回のペースで事務局会議を開き、企画立案と振り返りを行う。

## イ 玉川地域

### (ア) 目標

- ・園長間でつながり情報共有をし、地域で質の高い保育を目指す
- ・各分野での意見交換をし、知識を深めていく

### (イ) 計画

- ・玉川地域を 4 つのグループに分けて活動を行う。近隣の園での交流を深め協力体制を作る。各グループで親睦会を開催しさらに交流を深めていく。実施状況を見ながら全体での親睦会も計画していく。
- ・主任会、看護師会、栄養士会を年数回継続的に行っていく。  
各グループでの保育園見学も進めていく。園長だけでなく主任や保育士が見学する機会作っていく。園同士で連絡を取り合い、保育士の交換実習も企画していく。

### (ウ) 保育ネット

- ・年 2 回の定例会
- ・講師を招いての研修の実施
- ・職員間での交流の実施。玉川地域での施設見学会の実施

## ウ 砧地域

### (ア) 目標

- ・砧地域園長会は「地域の保育の質向上」という共通目的のもと、互いに交流し合い、助け合い、情報を交換する等して、園を取り巻く様々な状況に対応するための協力体制を構築する。また砧地域で集約した意見や要望等を全体会に発信、行政への意見・要望に繋げ、より安心安全な園運営ができるように働きかけていく。

### (イ) 計画

- ・区の私立保育園長会年間予定表の日程に合わせて地域園長会を開催する。  
基本集合形式で、状況により Zoom 等で行う。毎回事前に議案集計、結果配信を行い、当日は全体会等の議題に加え、集計結果をもとに話し合いを行う。その際は書記を任命、記録作成、

キントーンにアップして共有する。砧地域単独園長会を、嬉泉さん会議室で開催予定(2部制)  
※2025 から単独園長会主催を担当制(持ち回り制)等に変更。(年4回開催予定)

- ・運営体制：近隣区域別に3グループに分け、それぞれ副代表を配置し、役員会と砧地域の情報連携を強化する。グループ分けは下記の通り。集合時に人数が多い場合に、より内容の濃い交流ができるよう3グループをそれぞれ2つに分割、サブリーダーを任命、計6グループに。

第1グループ：環状八号線より東

第2グループ：環状八号線より西、世田谷通りより北

第3グループ：環状八号線より西、世田谷通りより南

※2025年度は上記をベースにしつつ、園の規模別でのグループ分けや、テーマ別でのグループ分けも実施予定。

※役務分担：1人1役1回以上(任期2年)を原則に、持ち回り制等に変更。 公立園保育ネット  
砧事例：担当2人(1年ずらして交代、引継ぎ対策)

- ・日常的に疑問や困ったこと等を気軽に連絡を取り合い、メーリングリストを活用し情報の交換、共有をしていく。また、地域全体を見据えてまずは近隣園で顔の見える付き合いの活性化を目指す。近隣園見学、園児交流・職員交流、公開保育等、すでに実施している園の交流の継続・拡大・内容の向上や、保育ネット、学び舎等の機会も活用し、新規での交流促進に取り組んでいく。区の地域分けにより、距離は近いのに別地域になっている園では、園ごとに個別交流ができるように、取り組み方法を検討していく。
- ・園長会に参加しない(できない)園に対して、近隣園からアプローチする仕組みを作るなどして交流を図る。(学び舎等、園長会以外の機会も活用)。
- ・主任・栄養士・看護師等の交流会の企画を検討。
- ・全体開催が難しければ、近隣園等で、できる範囲で交流を行う。
- ・看護師会は2024年度1/17再開、2025も継続して実施していく。
- ・区主催の看護師情報交換会への参加促進(年2回予定)。
- ・区主催ミドル研修グループをきっかけにした園交流促進。
- ・主任、栄養士情報交換会、地域で開催検討するが、他の地域と連携して他地域主催の会に参加できるか模索する。区に開催を陳情することも検討。

## (ウ) 保育ネット

<目的>

- ・地域の保育の質を包括的に向上させる
- ・子育て情報の提供と発信

<計画>

- ・「顔の見える関係」のネットワーク構築のため、全体会を年4回程度実施予定。  
6月頃施設長、9~12月保育士向け2回(保育実践1回、意見交換1回)、1月施設長。2025年度初回事務局会議 4/24(木)18時 希望丘保育園予定。
- ・近隣園交流促進：公立・認証・保育関係など私立園枠を超えた近隣施設での交流を促進  
千歳船橋周辺の公立園と私立園で交流開始したので他の地域でも交流促進をしていく。
- ・災害時防犯等、近隣施設と連携する仕組みを作り、施設長だけでなく職員レベルで連携できるような仕組みを検討していく。

## エ 北沢地域

### (ア) 目標

- ・地域園長会の場が癒しの場になるような会にする。

### (イ) 計画

- ・隣組は昨年同様近隣園での組み合わせで実施。  
地域園長会では、参加人数やテーマによって組み合わせを柔軟に変えることで様々な情報を交換できる場にする。
- ・引き続き隣組リーダーを副代表に選出する。
- ・園同士の交流を計画。  
施設見学、合同研修、職種別職員交流、園児交流。
- ・地域を超えた学び。  
地域園の見学や取り組みに関する情報交換、外部講師を招いた研修会。
- ・癒しの茶話会実施。  
テーマレスな交流の場として不定期開催。

### (ウ) 保育ネット

- ・全体会は年2回の実施。
- ・その他の取り組み。
- ・職員(職責・職種別)の交流会。
- ・講師を招いての研修。
- ・他地域の取り組みを参考にしつつ新しいことに挑戦していく。

## オ 烏山地域

### (ア) 目標

- ・一人一人が園長会に参加し、会いたいと思う場、安心する場となるよう努めていく。
- ・各園同士が活発に交流、見学を実施していきます。また、どの園も見学がしやすいよう地域園会のはじめに、声をかけることを習慣化していく。
- ・看護師会、栄養士会、主任会の専門部は職員から代表を選出していきます。職員に任せきりにならないよう、園長会で内容の把握や議題を考えていく。また、小規模保育園等専任職員の配置がない園も相当する職員の参加を促していく。

### (イ) 計画

- ・年長児から小学校低学年の計画を同一進学先の園がまとまり、計画を立てていけるよう小学校へ働きかけていく。

### (ウ) 保育ネット

- ・他団体との情報共有の場とし、横とのつながりを深めていく。
- ・今年度よりすくすくメッセ烏山の開催方法変更となり4児童館単独開催となるため、担当者を継続し、園長会での情報共有を丁寧におこなっていく。

## (4) 専門部

## ア 保育研修部

各園、保育の質の向上に向け「子どもの育ちや主体性」という大きなテーマを見据えながら日々保育に向き合う中、現場の職員がこうした質の高い保育を日常的に実践していくために一人ひとりの「外発的動機」を「内発的動機」に変えていくためにはどのようなアプローチが必要なのか、職員を育てていくための「人育て」に関する研修を実施したい。また、人間関係の要である職場の「関係性の質」を高めるための「対話研修」なども取り入れられたらと思っている。

## イ 危機管理対策部

7月、11月の園長会後に「危機管理」に関する研修を予定している。昨年度の宮野先生の研修では後半、時間切れで聞けなかった部分があり、それを聞きたいという意見があり、もう少し違う観点で話を聴きたいなどの意見もあった。7月の第一回では先回の続き及び宮野先生からグループ討議をぜひ取り入れたいという話もあったので、話し合いの中で他園での取組等も話し合えたらと思う。第2回は具体的に決まっていないが、1回目の反省も踏まえた形で設定できればと思う。

## ウ 保育制度対策部

「はじめてのおともだち事業」についてはアンケート結果で得た各園の状況や課題などをより深く掘り下げ、よりよい保育運営に活かせるように努めていきたいと思う。また令和7年度からの放課後児童健全育成事業については学童実施園からアンケート調査等を行うなどして課題を探り世田谷区への質問事項に繋げて拡充を検討する園への情報提供ができればよいと思っている。

## エ 職員採用部

(1) 令和7年度も世田谷区と共催で世田谷区内の保育者就職フェアを行う。

- ・6月8日(日) 世田谷区産業プラザ建物内(予定)。
- ・7月5日(土) 世田谷区産業プラザ建物内(予定)。

(2) 保育士だけでなく栄養士、看護師、保育補助、用務など幅広く人材を募集していく。

- ・大学や専門学校などの養成校との接点を増やし、上記就職フェアの集客増を目指す。
- ・参加法人に協力を仰ぎ、来場者にとって親しみやすく、おもてなし(癒し)の就職フェアを企画していく。
- ・世田谷区内外に上記就職フェアのPR活動を実施していく。
- ・世田谷区の保育の魅力を発信する事で就職フェアの集客に繋げていく。

## (5) 各種団体・会

### ア 民保協

(1) 関係公共団体ならびに社会福祉関係諸団体との連絡交渉

全私保連関係・日保協関係・東京都への予算要望・区市町村代表者会議・地区役員会議 等

(2) 施設経営の整備拡充に必要な事業

東京都との研修事業・予算対策関係事業・要望書の作成 等

- (3) 保育事業に関する調査・研究ならびに啓発・宣伝  
広報誌発行・企画活動・TOKYO 保育園フェア・TOKYO 保育フォト展・保育制度に関する研究事業・経営層向け研修会・調査研究活動・養成校との交流会・コンピューター関係事業 等
- (4) 施設職員の研修ならびに福利厚生のための事業  
新任職員研修会・保育所保育実践研修会・主任の人材育成研修会・キャリアアップ研修会・オンライン研修会・永年勤続表彰事業 等

## イ 東社協

世田谷区から地区委員を3名選出し、各々が委員会に所属して活動を行う。

〈全体企画〉

- (1) 地区委員総会 5月・1月
- (2) 全国教育・保育研究大会

令和7年11月20日(木)～21日(金)

全体会：東京国際フォーラム 分科会：飯田橋周辺会議室

〈総務委員会〉

保育部会の会員拡充及び会員園の運営の一助となる様、以下に掲げる活動を行う。

- (1) 人材育成、人材確保に向けた取り組み（保育士等キャリアアップ研修実施や人材センター・養成校等との意見交換など）。
- (2) 園運営等に関する研修の企画、実施（BCPに関する研修など）。
- (3) 園運営に参考となる調査等の企画、実施。
- (4) 未加入園の加入促進検討。
- (5) 保育協議会、保育関係団体との連絡調整。
- (6) その他、他の専門委員会の役割に属さない活動。

〈調査研究委員会〉

制度・政策の動向を踏まえながら、保育園における子・親・保育者を取り巻く課題や問題、現場において検討が求められる項目についての調査及び分析を行い、その結果について資料としてまとめる。また、必要に応じて他の専門委員会と連携して活動を行う。

〈大会企画委員会〉

- (1) 2025年度全国教育・保育研究大会（東京大会）開催に伴い、同年の東京都保育研究大会の開催は見送るが、全国大会の開催に向けて常任委員会との連携を密に行い、大会企画委員会が持つ大会開催のノウハウ等を活かしながら、より充実した全国大会開催を目指して、積極的に企画検討に参画する。
- (2) ブロック大会、全国大会との関連や整合性を考慮しながら、東京の保育現場が抱える課題を抽出・反映させて、参加者の問題解決に役立つ東京都保育研究大会のあり方を模索する。

## ウ 世田谷区要保護支援協議会

世田谷区主催の「世田谷区要保護児童支援全区協議会」に民間保育園連盟として参加。行政報告の共有、協議テーマに沿った公演、グループ討議等行い、区内の要保護支援の取り組みの強化になるよう努める。（年間1回開催）。

## エ 世田谷区子ども・子育て会議

引き続き、子ども子育て会議に積極的に参画し、地域の保育、教育、子育てに貢献する。また私立保育園の価値及び、運営の実情をアピールすることで保育環境の充実を訴える。特に年齢に関わらず、子どもは子ども集団で多くを学ぶこと、その為にも保育園の役割は大きいこと、孤立した育児を支えるために保育園の役割が大きいことを伝える。

## オ 世田谷区保育の質向上委員会

令和7年度に関しても、世田谷区保育課における保育の質向上委員会等の参画に対する求めを受た際は、民間保育園を代表し参画していく。

## カ 世田谷区乳幼児教育・保育連絡協議会

令和7年度以降も「世田谷版アプローチ・スタートカリキュラム」を改訂し「世田谷版懸け橋プログラム」として就学前教育と義務教育の円滑な接続の実現に向け、年間2回程度委員会が開催されることとなっており、民間保育園としての現状の説明や意見等を伝えていく。

## 7 年間スケジュール、定例園長会詳細

別表3参照

## 8 予算

別表4参照

## 付 会員名簿

別表5参照